

部局名	産業活力部	所属名	商工課	所属長名	加藤 義二	電 話	483-1151 内線3570
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		3280		事務事業名称		商工振興事業					短縮コード		経常	3280	臨時	3281	
予算区分		会計	01	一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	商工振興費	
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市八千代商工会議所運営補助金交付要綱・八千代市商店街共同施設設置事業補助金交付要綱 ・八千代市商業活性化推進事業補助金交付要綱									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																	
・商工会議所運営補助金は、地域の商工業の発展の核となる商工会議所を支援し商工業の振興を図るため実施。商工会議所が商工業の振興を図るため、運営を行うに当って要する費用に補助することになった。 ・商店街共同施設設置事業補助金は、商店街の魅力ある発展を図るための環境整備への要望で実施。商業団体が商店街（会）に共同施設を設置する事業や街路灯の電気料を補助することになった。 ・商業活性化推進事業補助金は、昭和61年度に大型店進出による商工会議所との対策協議をきっかけとして始まった。商業団体が商店街の活性化を図るため実施するイベント等の事業に補助することになった。																	
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 ビジネスモデルの多様化，高齢化や不況による消費の低迷。さらに，他商圏とも重複しており，都市間競争への対応も必要となってくる。						総合計画の 施策体系	6本の柱（章）		06	第6章産業活力都市をめざして							
							大項目（節）		02	第2節商工業							
							中 項 目		01	1. 商工業							
							小項目（施策）		01	(1)商業の振興							
									02	(2)工業の振興							
							細 項 目		02	②新たな事業展開や経営力強化に向けた支援							
									04	④にぎわいのある商店街の形成							
							実施計画の 計画事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）			商工会議所, 街路灯を設置している商店会, 活性化を図るためのイベント実施商店会				
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）			※平成24年度に実際に行ったこと： ・商工会議所が商工業の振興を図るため, 運営を行うに当って要する費用に補助。・商店会12団体に対し, 商店会街路灯の電気料を補助。 ・商店会等が行う集客のためのイベントに補助(商店会5団体)。・国・県等からの商工振興に係る調査物・周知依頼文書等への対応。 ・商店会等との意見交換会				
			※平成25年度に計画していること： 24年度と同様の事業内容である（ただし、街路灯電気料の補助対象団体は12団体、商店会等が行う集客のためのイベントに補助する団体は商店会6団体及び商店会連合会）。				
意図 （何を狙っているのか）			1. 商工会議所が行う事業等により, 商工業の振興を図る。2. 商店会の集客力等を上げ, 商業団体が商店街の賑わいを創出し活性化を図る。 3. 商店街の魅力ある発展を図る。				
ねらい（上位施策の意図）			入力対象外				
区 分			単位	23年度	24年度		25年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	街路灯を設置している商店会数	団体数	14	12	12	12
	指標2	イベント実施商店会数	団体数	6	7	5	7
	指標3	商工会議所数	団体数	1	1	1	1
活動指標	指標1	街路灯の電気料補助商店会数	団体	14	12	12	12
	指標2	商業活性化推進事業補助商店会数	団体	6	7	5	7
	指標3	商工会議所運営補助団体数	団体	1	1	1	1
成果指標	指標1	街路灯の電気料補助商店会の会員数（2年毎の県調査）	店	412	340	329	329
	指標2	商業活性化推進事業補助商店会の会員数（〃）	店	174	208	130	183
	指標3	商工会議所会員数	会員	2,086	2,086	2,102	2,102
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3280	事務事業名称	商工振興事業				所属名	商工課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			商店会等を取り巻く状況は、今後も厳しく、また、少子高齢化の社会状況の変化は商店会等の重要性を高めているものと考えていることから、今後も継続としたい。ただし、市の財政状況等を踏まえると補助金増額は難しく、補助金の使途の自由化や手続きの簡略化は規則等により不可能である。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			引き続き商店街活性化策について、商店会等と話し合い等を行っていくので、経費・成果とも不変である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・商店会に対して 生鮮製品を取り扱っていない商店会が多く、品数が少なく選びにくい。また、個店の特徴もないので、なかなか足を運ぶことが少ない。 閉店時間を午後9時頃までにし、帰宅時に利用できるようにして欲しい。 ・商店会及び行政に対して 老人施設や保育施設等商業以外での、空き店舗活用の支援要望。 子育て支援（子供を養育する保護者を対象）などのクーポン券（商品の割引などの優遇サービス）発行要望。 ・行政に対して 商店会等に対してもっと補助金を増額してほしい 補助金の使途に対して条件を付けずにもっと自由にしてほしい 補助金に係る手続きをもっと簡単にしてほしい									

所属長コメント	本事業は、事業者及び商店会の自主的な取り組みをもとに、国・県及び経済関係団体と連携し、市民の理解と協力を得ながら、商工業の活性化のための研究や施策の実施に努めるものである。特に補助金に関しては、交付目的に照らし合わせ、継続していく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									